

ウオダス

漁海況速報

No. 1567



発行日 平成 19 年 7 月 17 日

<http://www.appnet.jp/~aosui/>

発行 青森県水産総合研究センター

TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778

住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰯ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸 384-37

7月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

●常磐～北海道東部までの北部太平洋海域におけるスルメイカの来遊水準は2006年を上回る（平成19年度第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報）

小泊 (7月11～15日)	
スルメイカ	一本釣 53隻 20,970kg
ウスメバル	一本釣 1隻 8kg (664kg)
マダイ	刺網 11隻 656kg
マダバ	口延縄 6隻 344kg

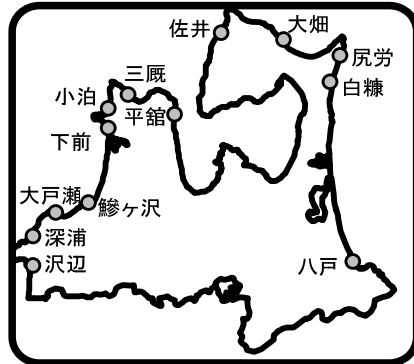
三厩 (7月11～15日)	
スルメイカ	一本釣 23隻 10,500kg

平館 (7月11～15日)	
スルメイカ	定置網 15隻 340kg
マダイ	一本釣 30kg
マダバ	一本釣 66kg

大畑 (7月11～15日)	
スルメイカ	一本釣 84隻 57,720kg (59,092kg)
マダバ	定置網 3隻 1,372kg
マダバ	リ定置網 3隻 245kg
マダバ	口定置網 1隻 138kg
マダバ	サバ定置網 2隻 3kg
マダバ	イ定置網 7隻 20kg
マダバ	サクラマス定置網 2隻 2kg

尻労 (7月11～15日)	
(対象魚種の漁獲なし)	

下前 (7月6～10日)	
スルメイカ	一本釣 44隻 24,130kg
ウスメバル	刺網 27隻 1,649kg (1,855kg)
マダバ	一本釣 8隻 205kg
マダバ	口延縄 7隻 236kg
マダバ	一本釣 1隻 25kg



八戸 (7月11～15日)	
スルメイカ	一本釣 208隻 161,236kg (192,178kg)
マダバ	まき網 3隻 30,942kg
マダバ	サバまき網 10隻 1,632,731kg
マダバ	サケ他定置網 3隻 1,146kg

主要魚種の動き

○スルメイカ (一本釣・7月11～15日)				
(日本海)	今回	前回は	漁期累計(5月～)	去年同期累計比
小泊	20,970kg	39%	922,085kg	138%
鰯ヶ沢	140kg	4%	231,755kg	189%
深浦	58,985kg	96%	621,660kg	510%
(津軽海峡)				
三厩	10,500kg	130%	105,700kg	158%
大畑	57,720kg	211%	162,960kg	694%
(太平洋)				
八戸	161,236kg	52%	986,931kg	1784%

大戸瀬 (7月11～15日)	
スルメイカ	一本釣 7隻 3,125kg (3,181kg)
マダバ	定置網 2隻 21kg
マダバ	底建網 1隻 35kg
ブリ	定置網 23隻 236kg (275kg)
マダバ	底建網 4隻 39kg
マダバ	イ定置網 27隻 47kg (218kg)
マダバ	底建網 53隻 164kg
マダバ	刺網 1隻 8kg
マダバ	口定置網 4隻 66kg (240kg)
マダバ	一本釣 2隻 21kg
マダバ	延縄 2隻 137kg
マダバ	刺網 1隻 17kg
マダバ	サバ定置網 5隻 4kg (137kg)
マダバ	底建網 20隻 133kg
ウスメバル	底建網 16隻 6kg (6kg)
ウスメバル	定置網 1隻 0.5kg
マイワシ	定置網 1隻 4kg
サクラマス	定置網 1隻 0.7kg

鰯ヶ沢 (7月11～15日)	
スルメイカ	一本釣 1隻 140kg
マダバ	イ底建網 7隻 13kg (65kg)
マダバ	一本釣 1隻 52kg
マダバ	口底建網 1隻 14kg (109kg)
マダバ	一本釣 2隻 95kg
マダバ	アジ底建網 10隻 34kg
マダバ	サバ底建網 5隻 24kg

沢辺 (7月11～15日)	
マダバ	イ定置網 4隻 88kg
マダバ	口定置網 2隻 316kg
ブリ	リ定置網 1隻 43kg
ワラサ	サ定置網 2隻 63kg
イナダ	定置網 3隻 18kg
マダバ	底建網 1隻 4kg
サクラマス	定置網 1隻 2kg

深浦 (7月11～15日)	
スルメイカ	一本釣 66隻 58,985kg
ブリ	リ定置網 4隻 10kg
マダバ	口定置網 20隻 59,959kg

白糠 (7月1～15日)	
(取りまとめ中)	

佐井 (6月16～7月15日)	
(取りまとめ中)	

◎青森県海面漁業漁獲状況調査月報（平成19年5月）の概要

- 5月の漁獲数量は24,219トン、漁獲金額は38億7,683万円で前年同月比は数量で121.1%、金額で111.2%となった。また、1～5月合計について前年と比べると、漁獲数量は65,849トン（対前年比102.4%）、漁獲金額は150億8,373万円（対前年比102.3%）となった。
- ほたてがい半成貝は13,474トン（前年同月比126.2%）、14億383万円（前年同月比97.5%）
- ほたてがい成貝は5,572トン（前年同月比162.4%）、6億8,365万円（前年同月比119.6%）
- するめいか（海外）は1,575トン（前年同月比132.0%）、2億9,873万円（前年同月比194.0%）

◎大型クラゲ出現・予測情報（第2報、7月10日現在）

- 広島大学による青島～下関間の国際フェリーを利用した目視観測においては、7月4日までに黄海において相当量の大型クラゲの出現が確認されています。また、韓国から寄せられた情報でも、済州島周辺、朝鮮半島沿岸で大型クラゲの出現が確認されているとのことです。
 - 7月9日には対馬市南端の豆酸崎の定置網に15個体（10～30cm）入網しています（18年度は7月22日、17年度は7月8日に初めて入網しました）。
 - 今後、次第に対馬の西水道及び東水道から日本海への流入が増大し、7月下旬には九州北部から山陰西部の沿岸に出現すると見込まれます。
- (資料：(社)漁業情報サービスセンター <http://www.jafic.or.jp/kurage>)

沿岸各地の水温

日本海 17 ~ 22 台
陸奥湾 16 ~ 18 台
津軽海峡 15 ~ 18 台
太平洋 14 ~ 16 台

今回は深浦、佐井を除く各地で前回より降温し、平均前回差は -1.3度となりました。

昨年と比べると、日本海側で -1.5度、津軽海峡側で -0.7度、太平洋側で -1.0度、陸奥湾内で -1.1度となっており、平均昨年差は -1.0度となっています。

平年と比べると、太平洋で平年並み、その他海域ではやや低めとなっており、平均平年差は -0.7度となっています。

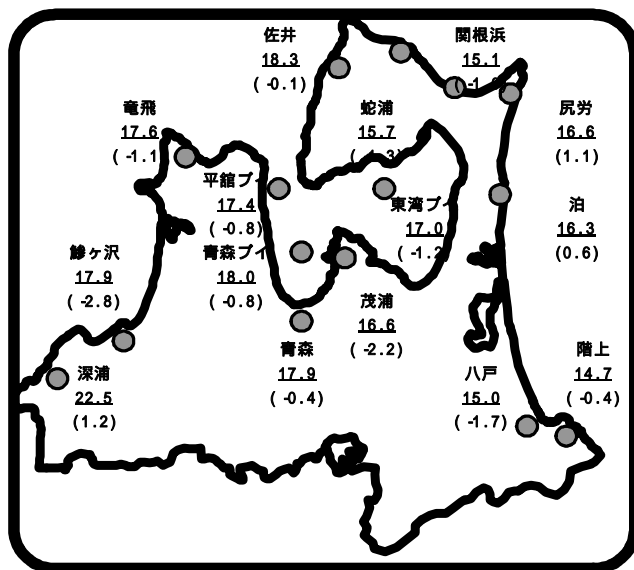


図 定地水温(7月11~15日)
平均値(平年差) プイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	22.5	+1.2	+0.3	+0.4
鯨ヶ沢	17.9	-2.8	-3.3	-1.6
竜飛	17.6	-1.1	-1.5	-0.9
佐井	18.3	-0.1	+0.2	+0.1
青森	17.9	-0.4	+0.6	-1.0
蛇浦	15.7	-1.3	-1.4	-2.6
関根浜	15.1	-1.0	-0.2	-2.1
尻労	16.6	+1.1	+0.0	-0.6
泊	16.3	+0.6	+0.7	-0.2
八戸	15.0	-1.7	-4.8	-1.8
階上	14.7	-0.4	+0.3	-1.2
茂浦	16.6	-2.2	-3.2	-2.7
平館プイ	17.4	-0.8	-0.5	-2.3
青森プイ	18.0	-0.8	-1.1	-1.3
東湾プイ	17.0	-1.2	-1.2	-2.4
平均	17.1	-0.7	-1.0	-1.3

太平洋の海況 (7月12~15日)

概況; 沿岸水温は16~17台

太平洋沿岸域の表面水温

16~17台で前回と比べ1度ほど降温しています。前年同期と比較すると、1度ほど高い水温になっています。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

16等温線でみると東経143度00分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

親潮系冷水の南下

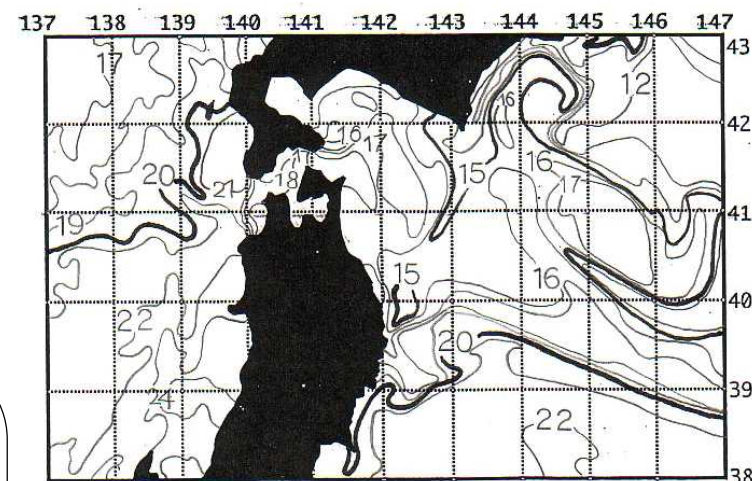
15等温線でみると北緯40度40分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

日本海の家況 (7月12~15日)

概況; 沿岸水温は21~22台

日本海沿岸域の表面水温

21~22台で前回と比べ1度ほど昇温しています。前年同期と比較すると2度ほど高い水温になっています。



資料:(社)漁業情報サービスセンター

北部太平洋海況情報 第30号 7月16日

大戸瀬沖の平均水温(プイのデータ)

	1m層	10m層	20m層
7月11~15日	19.52	18.89	17.97
前回差	-0.82	0.29	0.78

開運丸 あかいか資源調査結果(太平洋)

操業月日	漁法	操業位置	漁獲尾数(*)	魚体(cm)**	表面水温()	摘要
7月11日	流網	37-00, 175-29	27	14~45(16)	20.5	カツオ91尾
	一本釣	36-58, 175-36	19(0.6)	11~42(13)	20.5	スジイカ7尾
7月12日	流網	38-30, 175-30	25	14~45(16)	19.2	ピンナガ30尾
	一本釣	38-32, 175-35	61(1.8)	17~31(19)	19.2	
7月13日	流網	40-00, 175-30	118	15~45(23, 24)	16.9	シマカツオ412尾
	一本釣	39-59, 175-36	7(0.6)	23~26	16.9	タコイカ4尾
7月14日	流網	41-30, 175-30	34	17~43(21, 23)	16.5	シマカツオ456尾
	一本釣	41-33, 175-25	83(2.4)	19~47(21)	16.5	タコイカ38尾

* 釣り機1台1時間あたりの漁獲尾数 ** 主となる大きさ

試験船情報

試験船開運丸はあかいか資源調査を行っています。7月11~14日までの調査結果は右表のとおりです。

平成19年第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報

(独)水産総合研究センター北海道水産研究所は7月13日、関係機関の情報をとりまとめ下記の予報を発表しました。

《今後の見通し(2007年7月~9月)》

- 常磐~三陸海岸(いか釣り、底曳網、定地網、まき網)
 - 来遊量: 常磐~三陸南部海域は2006年並みかやや上回る。三陸北部海域は2006年を上回る。
 - 漁期・漁場: 期間を通じて漁場となる。
 - 魚体: 2006年よりも小型であり、8月は18~22cmが主体。
- 津軽海峡~北海道南部海域(いか釣り、定置網)
 - 来遊量: 津軽海峡内は2006年並みからやや上回る。津軽海峡東口~北海道南部海域は2006年を大きく上回る。
 - 漁期・漁場: 期間を通じて漁場となる。
 - 魚体: 2006年よりも大型であり、8月は20~24cmが主体。
- 北海道東部~根室海峡周辺海域(いか釣り、定置網)
 - 来遊量: 2006年を大きく上回る。
 - 漁期・漁場: 北海道東部海域の漁場形成は2006年より早まる。根室海峡周辺海域の漁場形成は10月以降になる。
 - 魚体: 2006年よりも小型であり、8月は16~22cmが主体。